

教師として生きる、 決意と努力を 支えていきます。

教師の仕事は、自ら育とうとする小さき生命に寄り添うこと。

希望という名の刺激を与え、生きる力を引き出し、個性の花を咲かせるのを忍耐と寛容をもって待ち続けること。

それは尊く、他では得られないやりがいを与えてくれる仕事です。

中京大学は1957年に教職課程が認可されて以降、半世紀にわたって全国規模で教員養成の役割を担ってきました。

10学部を擁する現在も、全ての学部で教職課程を備え、毎年200名を超える卒業生が教師として採用されています。

教職センターは、その実績のもとに形成された卒業生のネットワークとともに、確かなしくみで、

教師になろうと決意したあなたを全力で支えていきます。

《中京大学教職センター》

中京大学が教師育成に強い理由

伝統と実績

半世紀にわたる安定した実績に基づく、教員養成の確かなノウハウ

中京大学は、「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」の建学の精神のもと、学術とスポーツとの創造的調和によって多様で豊かな学術成果を生みだすとともに、社会に貢献する優れた人材の輩出を目指しています。社会発展の基盤である教育に携わる人材育成もその目的のひとつであり、これまで半世紀以上にわたって教員養成に取り組んできました。現在も、毎年200名を超える卒業生が全国の学校に教師として採用されており、安定した実績のもとに教員養成の確かなノウハウを積み上げていきます。

支援体制

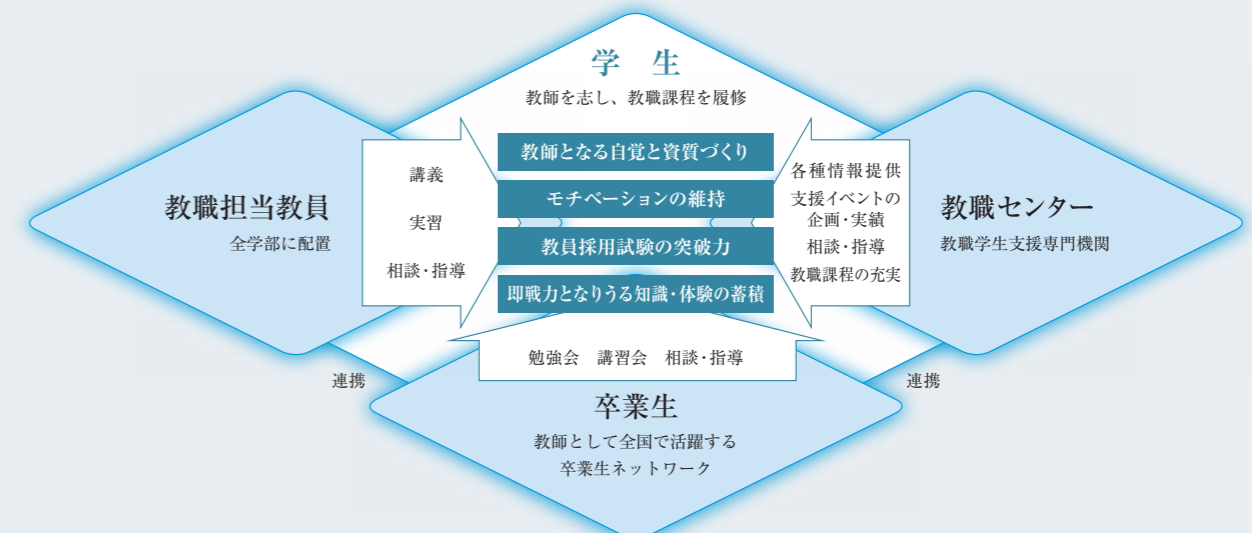
早期より体系的な支援を展開。卒業生も含め採用まで手厚くフォロー

教師に求められるのは、児童・生徒を導く教育力のもとより、教育へのゆるぎない情熱と使命感、子どもの人格を尊重する態度と深い愛情など。本学では、こうした教師に必要な資質づくりに関する支援を低年次から開始します。以後、教職課程および教員採用試験のスケジュールに応じた体系的な支援を切れ目なく展開。現役生のみならず、卒業生にも採用にいたるまで支援を継続していきます。

卒業生ネットワーク

全国で活躍する卒業生の協力を得て、教育現場における即戦力を養成

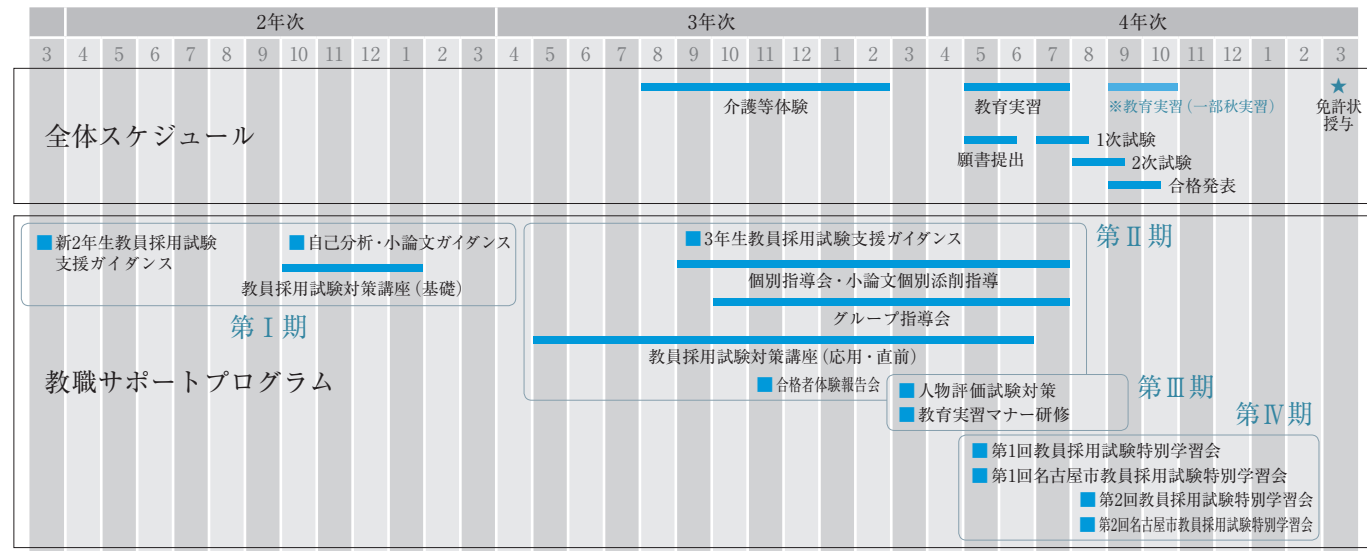
中京大学では、各学部における「教職担当教員」と、教職を目指す学生の教育・支援を専門に行う「教職センター」が連携し、目的意識を持続させながら効果的に学ぶ環境を整備。さらに、すでに教師として活躍する本学卒業生を招いた勉強会や講習会などを通して、教員採用試験の突破力とともに、すぐに第一線で働くことのできる姿勢づくりや実践力の育成に力を注いでいます。



早期からの段階的な目標設定と 充実した支援で合格をつかみとる。



教員免許状取得および教員採用試験合格に向けた支援内容 (一部抜粋)



>>> 期間ごとの目標 (あるべき姿)

第Ⅰ期：教職課程開始	第Ⅱ期：準備・基礎力養成期間	第Ⅲ期：スキルアップ期間	第Ⅳ期：強化期間
「免許状取得」および「教員採用試験合格の最適な方法」を知っている	「教員採用試験の内容・仕組み」および「合格手法」を知っている	具体的な受験先を決定できている	受験対策の大部分を完了している
<input type="checkbox"/> 教職課程履修方法を知っている <input type="checkbox"/> 大学支援内容を知っている <input type="checkbox"/> 合格した先輩の合格手法を知っている	<input type="checkbox"/> 最適な勉強方法を知っている <input type="checkbox"/> 支援イベントに参加できている <input type="checkbox"/> 教職課程履修の各手続きができている	<input type="checkbox"/> 小論文や面接などの実力を身につけている <input type="checkbox"/> 自己分析ができている <input type="checkbox"/> 自分の教師像を明確にできている	<input type="checkbox"/> 試験対策は最後の総仕上げをしている <input type="checkbox"/> 常に場面想定ができ、実習に参加できる <input type="checkbox"/> いつでも教師としてスタートができる



イベント紹介 (一部抜粋)

1. 支援ガイダンス

教師とは何か? — そのやりがいと厳しさを知る。

新2年生教員採用試験支援ガイダンス

「教師とは何か」や「教職のやりがいと厳しさ」について解説し、自身の目指す教師像を明確にします。同時に、教職課程および教員採用試験支援のスケジュールを紹介し、「これから何をすべきか」について考えます。

**自分のなりたい「教師像」について
真剣に考えるきっかけに。**

公立学校の元校長先生によるリアルな学校現場のお話や体験談を聞いて、教師の厳しさや、それを上回るやりがいを知り、教師という職業の魅力を変えて実感すると同時に、自分のなりたい「教師像」について真剣に考えるきっかけとなりました。自分の理想とする教師になるために、今からやるべきことについてもこのガイダンスを通してはかりました。



合格へのモチベーションを高める。

3年生教員採用試験支援ガイダンス

合格率を上げるための受験方法、支援イベントと合格率の関係等、実績を踏まえ紹介します。教員採用試験に向けて、合格へのモチベーションを高める貴重な機会に。

**実績に基づいた合格率を高める
受験テクニックを知ることができた。**

**やる気に応えてくれる大学の
手厚い支援に驚きました。**

(経営学部4年)

(法学部4年)

イベント紹介 (一部抜粋)

2. 筆記試験対策

早期からの筆記試験対策で、スタートダッシュを。

教員採用試験対策講座(基礎)

一般教養と教職教養を広く学びます。筆記試験の重要性を理解したうえで、早期から学ぶ習慣を身につけます。

**早期から自分に合う勉強法を確立することで、
試験対策に余裕ができた。**

(現代社会学部3年)

**試験の出題傾向や、効率の良い
勉強方法を学ぶことができた。**

(総合政策学部3年)

教員採用試験の突破力を高める。

教員採用試験対策講座(応用・直前)

教職教養を中心とした講義を1年半にわたり展開し、合格に必要な知識を身につけます。4年次では予想問題など、教員採用試験直前に活かせる試験対策も実施します。

**自主学習も同時に行うことで、
より理解を深めることができました。**

講座で使用する資料集、過去問題集は講座で使用するだけでなく、自主学習にも活用できるため試験勉強にとっても役立っています。毎回の講座の予習・復習を欠かさず行うことで理解が深まり、知識の定着にもつながりました。また、4年次では過去問題や予想問題などを取り扱う講義もあり、教員採用試験直前の総仕上げとして効率よく学ぶことができています。



イベント紹介 (一部抜粋)

3. 小論文・指導会

合格に向けた個別指導

個別指導会・小論文個別添削指導

学生一人ひとりに合わせた細かな指導。学習進捗に合わせてアドバイスも行います。また、小論文も徹底的に指導。合格につながる「書き方」を伝授します。

**着実に実力がついていく実感
得ることができ、自信につながりました。**

(国際学部4年)

※新学期名称にて記載

**自分の苦手分野を中心に丁寧に
指導していただき、感謝しています！**

(心理学部4年)

教職経験者から、リアルな教育現場を学ぶ。

グループ指導会

教職経験者の指導のもと、個人面接や場面指導などの人物評価を中心とした試験を突破できる実力を養成します。

**同じ夢を持つ仲間との交流を通し、
自分の教育に関する視野が広がりました。**

学部の垣根を越えて集まったメンバーの前に、はじめはなかなか発言することができませんでしたが、話し合いを重ねる中で自然と打ち解け、ともに教員を目指す仲間という意識が生まれました。グループ指導会での面接練習や意見交換を通し、自分とは異なるたくさんの意見に触れていく中で、教育に関する視野も広がったと自負しています。今後も、時にライバルでもある仲間たちと切磋琢磨しあい、合格を勝ち取りたいと思います。



試験直前の実践指導で、合格をつかむ！

教員採用試験特別学習会(1回/2回)

本学卒業生を講師に招き、教員採用試験合格に向けた具体的な対策を指導します。本番のような緊張感を持って実施されるため、試験慣れの効果もある直前対策です。

**本番さながらの緊張感のおかげで、
自信を持って本番に臨むことができました。**

本番の試験を想定した厳格な面接練習であったため、とても緊張しましたが、自分の弱みに気づくきっかけにもなりました。試験前はこの経験ができたおかげで、試験に向けて自分自身の弱みの見直しをすることができ、本番当日、自信を持って試験に臨むことができました。



卒業生との連携

教師を目指す卒業生も全力でサポート

既卒者支援の充実

大学が支援するさまざまなイベントには、学部生だけでなく、既卒者も希望者は全員参加が可能。ホームページや卒業生ネットワークを介して開催日程等の告知も行っています。

卒業生の知識と経験をフィードバック

卒業生教員ネットワーク

知識と経験を備えたベテラン教師の卒業生が、教師を目指す学部生を学習会等で指導。さらに、教師となった卒業生で構成される部会が中心となり、新任教員をバックアップしています。

名古屋市教員採用試験突破を目指す直前対策!

名古屋市教員採用試験特別学習会(1回/2回)

実践的な各種指導を実施。名古屋市教員採用試験の傾向などを知り、合格に必要な力を身につけます。人物評価試験の直前対策です。

**同じ名古屋市教員を目指す仲間ができ、
学習会以外でも共に対策をしあう仲に。**

(文学部2022年3月卒)

**名古屋市の試験傾向をつかむことができ、
合格に一歩近づいた実感がありました。**

(スポーツ科学部2022年3月卒)

蓄積された確かなノウハウで、 毎年200名を超える教師を全国へ輩出。

◆教員採用試験実績（2021年度公立学校のみ）

2021年度合格者 合計 209 名	中学校	高等学校	中学校・高等学校	小学校	特別支援学校
	79名	35名	3名	72名	20名

◆主な教員採用試験合格先（2021年度）

愛知県公立中学校／愛知県立高等学校／愛知県公立小学校／名古屋市立中学校／名古屋市立高等学校／名古屋市立小学校／岐阜県公立中学校／岐阜県立高等学校／岐阜県公立小学校／三重県公立中学校／三重県立高等学校／三重県公立小学校／静岡県公立中学校／静岡県立高等学校／静岡県公立小学校／静岡市立中学校／静岡市立小学校／浜松市立中学校／浜松市立小学校／長野県公立中学校／長野県立高等学校／北海道公立中学校／神奈川県公立中学校／神奈川県立高等学校／神奈川県公立小学校／横浜市立中学校／横浜市立小学校／茨城県公立中学校／茨城県公立小学校／福井県公立小学校／富山県立高等学校／兵庫県公立小学校／京都府立高等学校／京都市立小学校／大阪府公立中学校／滋賀県公立中学校／鳥取県公立中学校／鳥根県公立中学校／高知県公立中学校／高知県立高等学校／徳島県公立中学校／福岡県立高等学校／長崎県公立中学校／大分県公立中学校／熊本市立中学校／熊本市立小学校／沖縄県公立中学校 など

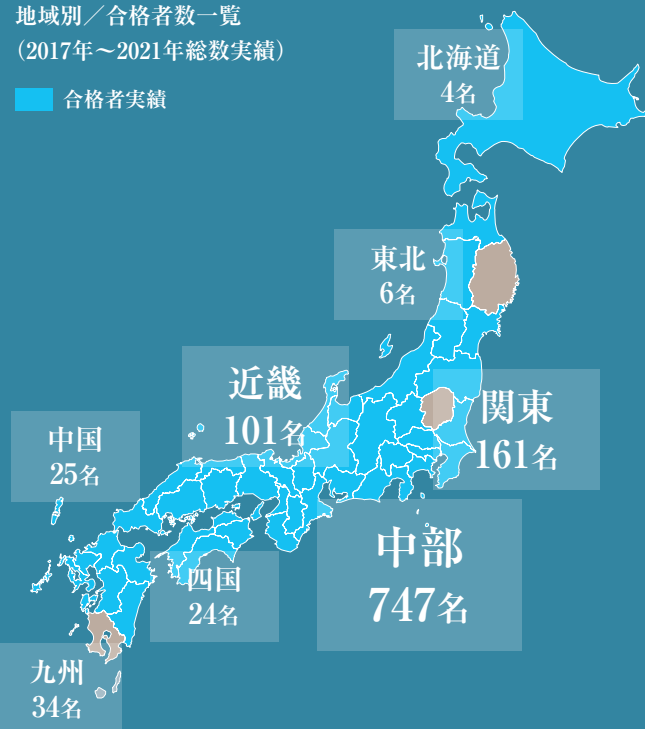
◆過去5年間の合格実績

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
全合格者数	221名	219名	237名	216名	209名
中学校	72名	69名	79名	90名	79名
高等学校	42名	48名	36名	35名	35名
中学校・高等学校	4名	4名	9名	9名	3名
小学校	62名	64名	73名	60名	72名
特別支援学校	39名	32名	40名	22名	20名
その他 (養教・校種不明)	2名	2名	0名	0名	0名

◆日本全国各地へ合格者を輩出

地域別／合格者数一覧
(2017年～2021年総数実績)

合格者実績



2017年～2021年度 合格者合計

1,102名

迷いに寄り添い、自信へ導くサポートに感謝。



文学部言語表現学科4年 清水 香名さん
取得予定免許：中学（国語）／高校（国語・書道）

大学入学当初、教師を目指すことは選択肢のひとつに過ぎませんでした。私に教師ができるだろうか、そんな迷いの中にあっただけ私が決意を固めたのは、指導官の方からいただいた言葉がきっかけ。「君は教師に向いているね。教壇に立っている姿が目につく」と声をかけていただき、その言葉が私の自信になり、今も支えになっています。さまざまな支援の中で、最も心強く感じたのは小論文指導です。

どのような教師になりたいのか漠然としていたものが、指導を受けつつ何度も話をさせていただく中で明確になっていきました。国語とは文章から心情を読み解く力を培うもの。それは相手の気持ちを読み解くこと、コミュニケーションを取るうえでも大切なスキルです。そうした人間性の基礎となる素養を育てながら、一人ひとりの個性を伸ばせるような指導を行っていくことが私の目標です。

課題とじっくり向き合える支援体制が心強い。



国際学部4年 鈴木 佑佳さん
取得予定免許：中学（英語）／高校（英語）

※新学部名称にて記載

教師を目指し学ぶ中、私自身が成長を感じられる時間は模擬授業です。先生、生徒、それぞれの立場を通して、気づかなかった課題、参考にしたい点など、得るものが多く、貴重な時間になっています。中京大学の教職支援は、手厚いことはもちろんですが、早い時期からスタートすることが魅力。自分の課題にじっくり取り組むことができ、小論文の苦手意識も克服できました。面接指導では、言葉選びにとらわれ過ぎて

いた私に「飾らず自分らしさを出すことが大切」とアドバイスをいただいたことで気持ちにゆとりが生まれました。また、先輩との交流も頼もしく感じます。勉強法や教材など、経験に基づく助言をいただき助かりました。将来の目標は、お互いが認め合い、みんなが笑顔になれるクラスをつくること。また中学時代、私は英語が苦手でした。同じような生徒に克服の方法、そして英語の楽しさを伝えたいです。

きめ細やかな支援が目標に挑む意欲の支えに。



スポーツ科学部スポーツ教育学科4年 大竹 樹さん
取得予定免許：中学（保健体育）／高校（保健体育）

中京大学は地域とのつながりが強い大学です。私は大学の紹介で学校ボランティアに参加。現場の先生がどのように生徒と接しているのかなど、リアルな教育現場を肌で知り、改めて教師という仕事のやりがいと責任の重さを感じることができました。中京大学の教職支援の特徴は、一人ひとりにきめ細かく対応した指導をしていただけること。個別指導会

は小論文の指導にとどまらず、さまざまな悩みや不安を相談できる場です。教職経験者である指導官の言葉は、説得力があることはもちろん、いっしょに解決策を見出していこうという方向に導いてくれるので、常に意欲的に取り組む支えになっています。私は目標を持つことで挑戦することの大切さを知りました。将来、生徒にも夢や目標を与えられる教師を目標に、私自身も挑戦を続けていきます。

◆取得可能な教員免許状（各自治体および私立学校の教員採用試験においては、取得免許状の要件を課していることがあります。）

学部	国際	文			心理	法	経済	経営	総合政策	現代社会		工	スポーツ科				
		言語・文化	歴史・文化	日本語						言語表現	現代社会		現代社会	電気*	スポーツ	スポーツ	トレーナー
中学校教諭一種	国語			●	●												
	外国語(英語)	●															
	社会		●			●	●	●	●	●	●						
高等学校教諭一種	保健体育												●	●	●	●	●
	国語			●	●												
	書道			●	●												
	外国語(英語)	●															
	公民					●	●	●	●	●	●						
商業						●	●	●	●	●							
工業																	
保健体育												●	●	●	●	●	

*取得可能な学科・専攻のみ記載。

◆通信課程による教員免許状取得プログラム

本学では提携校の通信課程を履修することで卒業時に右記の免許状が取得できます。※履修に際して条件および学内選考等があります。また、別途学費等納付金が必要となります。右記の免許状を同時に取得することはできません。

●小学校教諭二種免許状(提携校:玉川大学通信教育課程)
【取得可能学部学科専攻】文学部歴史文化学科、心理学部、法学部、現代社会学部現代社会学科(社会学専攻・コミュニティ学専攻)、スポーツ科学部スポーツ健康科学科・スポーツ教育学科

●特別支援学校教諭一種免許状(提携校:明星大学通信教育部)
【取得可能学部】心理学部、法学部、経済学部、経営学部、総合政策学部、スポーツ科学部
●高等学校教諭一種免許状[公民](提携校:玉川大学通信教育課程)
【取得可能学部学科】文学部歴史文化学科

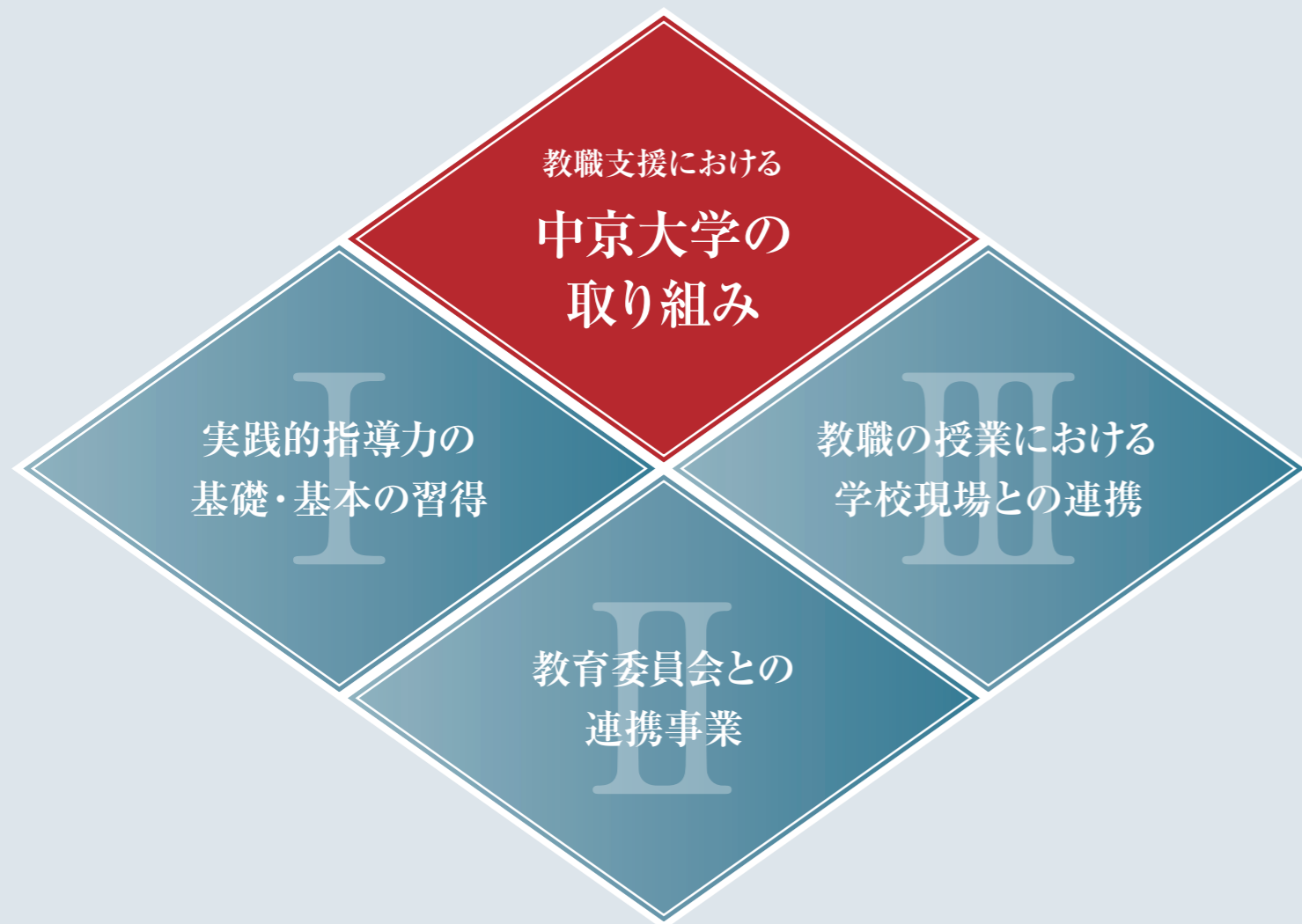
中京大学

教職センター

■名古屋キャンパス
〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL: 052-835-7218 FAX: 052-835-7164

■豊田キャンパス
〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101
TEL: 0565-46-1231 FAX: 0565-46-1233

即戦力となる真の教師を目指して



合格の先を見据え、実践的な指導を展開。

中京大学の教職支援は単に、教員採用試験を合格させるだけの指導に留まりません。

もちろん、合格を目指す学生の希望に応える支援は早い段階から手厚く行っており、

毎年200名を超える合格者を輩出。これがさらなる支援の糧となっています。

しかし、「合格」のみが本学教職センターの目的ではありません。現役合格した学生だけではなく

講師としても卒業後、教壇に立つ上では即戦力となることが期待されており、

こうした現場の期待に応えうる実践力と豊かな社会性を育む多彩な指導を展開。

4月から一人の教育者として先輩教員はもちろん、生徒や児童、保護者からも必要とされる

本物の力を有する「真の教師」の育成を目指しています。



教職支援における中京大学の取り組み

I 実践的指導力の 基礎・基本の習得

教員採用試験後より、合格者はもちろん講師として学校現場で働く人も含め、実際に教壇に立つ上で必要な実践的指導力（生徒指導力・教科指導力・学級経営力等）の基礎・基本の習得を目指した指導を行っています。

●指導内容…学校現場を知る／教員の仕事を学ぶ／教員としての感性とセンスを磨く／評価と評定／学校行事／学級経営／授業経営／生徒指導／危機管理／保護者対応や保護者との連携について／障害のある児童・生徒や問題行動への対応／着任式でのあいさつ、学級生徒への話、授業での話など／目指す教師像、育てたい子ども像の明確化と目指す授業の構造化 など

授業ピックアップ

「学級だより」をつくってみる

実際に「学級だより4月号」を作成し、一人ひとり発表することを通して、学級だよりの役割や効果、学校の目標や方針との関連、言葉使いや文章化についての注意等について学びます。さらに、それぞれの発表内容についてグループ討議し、「わかりやすい、伝わりやすい話し方」について理解を深めます。

「いじめ」への対応について

実際にあった事例からロールプレイングと後のグループ討議によって、どんな方法が最も適切だったかを共有します。また、いじめや不登校の定義や実態について学ぶとともに、問題を抱える生徒・児童からのサインを見逃さないための方法や、いじめを許さない学級・学校づくり等について学んでいきます。

II 教育委員会との 連携事業

本学と個別協定を締結している名古屋市および豊田市の学校を中心に現場での実践的な取組を学ぶ機会を提供。現場体験では実際に児童・生徒とふれあい、教育・指導を体験することによって確かな実践力を育みます。



連携事業ピックアップ

教職実践演習講演会

大学の学びと学校現場との違い、また学校現場の様々な課題やその対応など、学習指導および生徒指導の観点から教育現場での実践経験を連携先の教育委員会から講師を招きお話しいたします。

学校ボランティア

小学校・中学校・高等学校のそれぞれの学校現場のニーズに合わせて、学習支援、部活動支援、学校行事支援など学生を派遣、学校現場で児童・生徒とふれ合う機会を提供しています。

III 教職の授業における 学校現場との連携

学校現場との連携のもと、本学教員が学生とともに学校を訪問し、児童・生徒の視野を広げる専門性の高い授業を実施。教職を目指す学生は、授業の補助を通して直接子どもたちと接し、教育指導の経験を重ねていきます。また、この授業は、連携先の学校の先生たちの研究論文作成や総合学習への応用など、さらなる教育力の向上にも役立てられています。

事例紹介

学校授業補助

小中学校の授業を、訪問校の教員とともに本学学生が担当。学生が大学で学ぶ専門性を生かし教員の補助を行います。児童・生徒に直接教えることで、予想とは異なる生の反応や声は期待以上に学生の教師力育成につながります。また子どもたちの成長の様子を目の当たりでき、その感動はさらなる学びとなっていきます。

専門性を生かした出前授業

教育機関の要望にあわせ本学教員が出前授業を行います。これまでにダンスの表現指導、ラグビーなどのスポーツ競技の魅力やルールの教授、授業における効果的なICT機器の使い方、日本漫画・アニメの翻訳から異文化を体験など、専門の教員が学校へ訪問し直接指導を行っています。今後も、学校現場が取り組んでいる活動や時代に合わせた様々な領域での派遣をすすめていきます。

中京大学

教職センター

■名古屋キャンパス
〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL: 052-835-7218 FAX: 052-835-7164

■豊田キャンパス
〒470-0393 愛知県豊田市具津町東101
TEL: 0565-46-1231 FAX: 0565-46-1233

※このリーフレットは2022年3月現在に確認できる内容に基づいて作成しています。プログラム等変更の可能性あります。